月刊
住宅情報誌
躍進
http://www.yakushin.jp

躍進の永遠の目標
価値ある「安心・空間・環境」を創造する

主な内容

②面 4人の木材劣化診断士が誕生！
③面 令和の時代を彩る躍進の商品群
④面 国交省と都、木密解消など災害対策会議

発行所
埼玉県さいたま市
見沼区中川106-1
TEL048·688·3388
FAX048·680·7615
株式会社 躍進
編集・発行人
笠井 輝夫
頒価：220円（送料込み）

令和2年のスローガンは
「前へ！前へ！喜び勇往邁進！」です。

どこまでも誠実かつ公明正大な振る舞いで、
前へ！前へ！勇往邁進して、
目的目標必達実現を誓願します。

皆が前進、皆が喜び勇往邁進の宣言をして、一人ひとりが目標必達実現へ向かう中で、揺るぎない、ブレない自分軸を確立して行くことが、幸福の道程です。

（第22期「誓願出陣式」挨拶より抜粋）

令和2年2月吉日

第二十二期「誓願出陣式」において

株式会社 躍進 代表取締役社長 笠井 輝夫

謹啓　時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

おかげさまで、躍進は第二十二期を迎えることができました。これもひとえにみなさまのおかげと心より感謝いたしております。全社員が心身共に健康で、意気揚々と二十二期の幕開けができたことを喜びあいました。また、いかなる困難も乗り越えながら、前期黒字で有終の美を飾れた同志達を誇りに思い、ありがとうの感謝の気持ちで一杯です。前期同様更に勇往邁進するために、改めて再確認したい「躍進の軸」が五項あります。

一、令和の躍進は、漸進主義の年輪経営を目指す。

漸進とは「徐々に段階的な方法で緩やかに力強く確実に」との意があり、即ち持続可能な黒字経営の根を広く深く浸透させる「年輪経営」を持続させます。

二、躍進の存在価値と意義。

社員とその家族の幸福、お客さまの幸福、躍進と縁ある人達の幸福、即ち皆の幸福実現が目的の会社です。そのためには、自分が喜び生活、喜び仕事、喜び人生の体現者であることを第一に、自分が喜び、他者が喜び、社会が喜ぶネットワーク拡大の旋風を自らが巻き起こします。

三、経営理念と基本動作を軸に、目的と目標必達実現させる。

躍進の根幹です。

四、お客さまの笑顔喜びが我が喜び！

創業精神の原点回帰を表しています。

五、常勝躍進いつの時代においても、存在価値の企業を目す。

これら五項を根幹軸に、社員一人ひとりが、自分の軸を確立してほしいと願っています。令和二年のスローガンである「前へ！前へ！喜び勇往邁進！」の如く、皆が前進、皆が喜び勇往邁進の宣言をして、一人ひとりが目標必達実現へ向かう中で、揺るぎない、ブレない自分軸を確立して行くことが、幸福の道程です。どこまでも誠実かつ公明正大な振る舞いで、前へ！前へ！勇往邁進して、目的目標必達実現を誓願します。

このように、第二十二期も、全社一丸となって、輝かしい一年にいたします。今期もよろしくお願い申し上げます。

令和二年二月吉日

「住まいの予防医学」にこれまで以上に邁進

4人の木材劣化診断士が誕生！

躍進ではこのたび、四人の木材劣化診断士（写真 公益社団法人日本木材保存協会認定）が誕生いたしました。これにより、これまで以上に、床下点検からはじまる「住まいの予防医学」に邁進する所存です。

腐朽と虫害診断の専門家

木材劣化診断士は、木材の生物劣化（腐朽と虫害）の診断技術の専門家です。外構を中心する木質構造物の生物劣化の現況を診断する能力を持っています。また補修や修理に関する助言、改修や維持管理に関する助言を行うことができます。さらに木材劣化診断士が習得した診断技術は住宅などの劣化診断にも適用可能です。

住宅と外構の基礎と劣化のポイントをおさえ、木材とその劣化、構造別の劣化の特徴を把握します。

一次診断では視診・触診・打診と報告書作成を行い、二次診断では、含水率計測、ピロディン、レジストグラフ、超音波伝播速度、腐朽診断キットなど機器類を用いた診断を実施します。三次診断（精密診断）では、形態観察、培養・遺伝子による識別などを行います。

木材劣化診断士の資格付与制度は、とりわけ保存処理木材（注入処理）の製造者が、使用下にある木材製品の維持管理を行うことにより、製造者としての社会的責任を果たすための活動の一環として開始されました。そして、木材劣化診断士は一般住宅や外構施設における木部の腐朽や虫害（生物劣化）の診断が担えるレベルの技術を習得しています。

より充実する「住まいの予防医学」

幸せなホームを実現するには、その入れ物であるハウス（住宅）が健全でなければなりません。肝心なのは、治療だけでなく「住まいの予防医学」を実践することです。

その中でも、床下点検は、「住まいの予防医学」を実践する「地域のホームドクター」である躍進のまさに背骨ともいえる部分です。

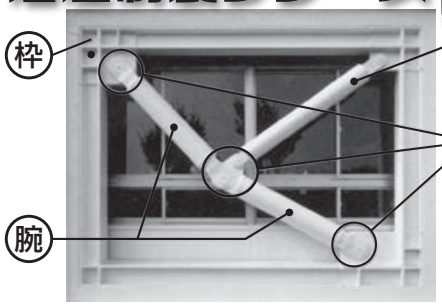
シロアリや腐朽菌によって食害・侵食された家屋の耐久性は著しく低下します。

耐震強度も下落し、新築当初の性能は保証できません。もし大きな地震等に遭い、家が傾くほどの損傷を受けた場合、その資産価値はゼロになってしまうのです。

そのため、床下点検を行い、土台や束などの木材の状態をチェックし、もし蟻害や腐朽菌被害があれば、リフォームをしなければなりません。傷みがひどい時は「根継ぎ」などの処置を施し、場合によっては大規模修繕、建替えなどの大きな改修工事が必要となります。

躍進では、これまでに多くの木材保存の実績を積んできました。そして、木材劣化診断士の誕生によって、より精度の高い診断が可能となりました。床下点検からはじまる住まいの木材保存は躍進までお気軽にご連絡ください。

開口部や空いている壁面を補強するだけで
耐震性がアップ！
ますます好評！
増幅機構付き油圧制震ブレース
トグル制震構法



オイルダンパー
日立オートモティブシステムズ（旧トキコ）社製。
半永久的に使用が可能です。

クレビス（回転支承部）
強度に優れた鍛造品を
使用しています。
鍛造品は、加熱した金属を金型で圧縮、打撃、鍛錬して成形されます。
一般的に疲労度が大きい箇所や靭性が必要とされる部分に使われます。

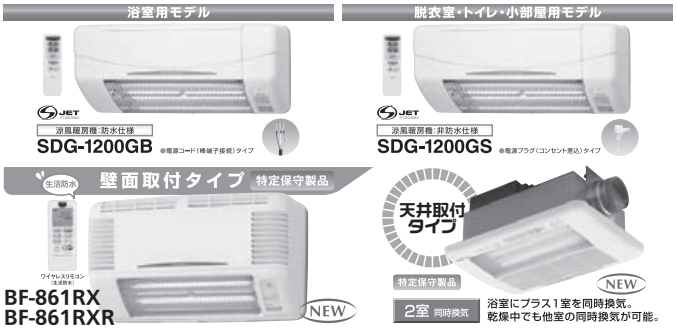
鋳造品ではなく
鍛造品を使用！

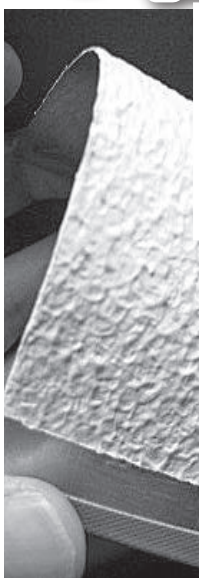
お問い合わせは
躍進までお気軽に！
〒337-0043
さいたま市見沼区中川106-1
TEL 048-688-3388
FAX 048-680-7615
URL=http://www.yakushin.jp
E-mail=yakushin-no1@nifty.com

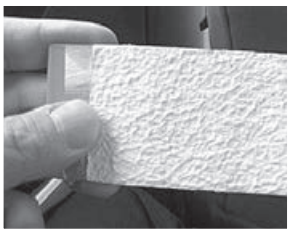
人気の定番商品が目白押し！
令和の時代を彩る躍進の商品群

浴室換気乾燥暖房機は、ヒートショック対策用の定番商品として、お問い合わせやご注文が多数寄せられています。六五歳以上の方をはじめ健康や生活習慣に不安のある方にお薦めです。

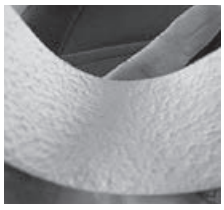
「**壁面タイプ／浴室用／防水仕様**」「**同／脱衣室・トイレ・小部屋用**」「**同／換気扇内蔵タイプ**」「**同／換気扇連動タイプ**」「**天井取付タイプ**」をご用意いたしました。







塗装サンプルを曲げても（写真左および下）一切クラックが入らない優れた弾性を誇る。

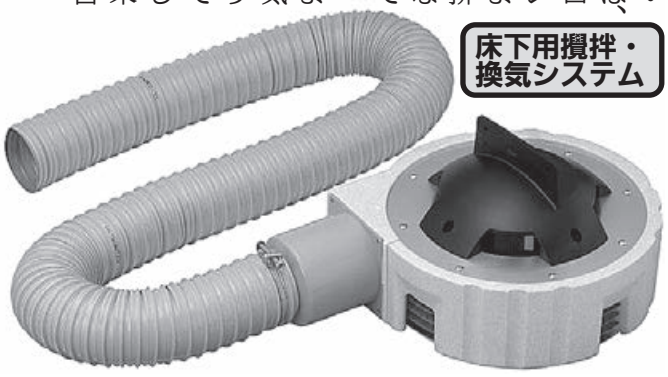


高弾性のつや消し塗料ード。さらに表層はラジカル架橋によって汚れを跳ね返す強靭な鎧となっており、トップコートが不要なのです。

『**ビュークリーンウォール**』は、柔らかいのに汚れにくく、塗膜表層にナノビーズが配列され汚れをガ

『**床下用攪拌・換気システム**』は、中基礎や、人通口の配置・形状、ショートカットによる換気のムダを排除し、さまざまな通風経路が設計できます。

中央部設置によるダイレクト換気（新方式）により一台で二〇坪までの床下をカバーします。これは、従来の床下換気扇三台分に相当します。



『**QUNETTO（クネット）**』は、人間の手の動きや角度を徹底的に追究して生まれた、ヒトを安全にやさしく支えるための手すりです。

手すりを持つ手の動きや角度を追究すると、「取っ手」のように使える垂直部と、「杖」のように使える水平部を連続させた波形のカタチになりました。

まっすぐな手すりと比べて握った時の手首の角度が自然な

ため、握り込みやすく、滑りにくい設計です。

自然石調の装飾仕上塗材『**エレガンストーン**』は、自然石の無機系素材がベース。躍進のリフォーム総合提案「足場パック」は、建物の資産価値アップに重きを置いており、数あるラインナップのなかでも、資産価値効果が最も高いのが『エレガンストーン』なのです。

建物のエントランス部分に用いるだけでなく、戸建て住宅の外壁、塀にも用いられています（**左写真**）。自然の風合いを活かした意匠性を持ち、壁面を多彩に演出します。主な特長は以下の通り。

【意匠性】

豪華な自然石調の仕上がりが得られます。

【耐久性】

無機系素材の使用により耐久性に優れます。

【超低汚染仕様】

超低汚染型のクリヤートップを施工することで耐汚染性を向上させることができます。

本誌はモノクロ印刷ですので、色合いをはじめ、全体的な風合い、さらに施工手順は、左記のQRコードならびにURLでご確認ください。

http://yakushin.jp/exterior-painting/

ニュース・新製品・政策・経営・インフォメーション

国交省と都、木密解消など災害対策会議

国土交通省と東京都は一月十日、防災まちづくりのための連絡会議を設置することを発表しました。「災害に強い首都『東京』の形成に向けた連絡会議」と題し第一回会合を一月十五日に開催しました。木造住宅密集地域の不燃化など地震や水害対策などを横断的に話し合った模様です。

国交省の山田邦博技監が座長、都の佐藤信朗技監兼都市整備局長が副座長を務めるものです。国交省の真鍋純・住宅局長や都の榎本雅人・住宅政策本部長など、国交省と都の主に局長クラスの他、内閣府からもメンバーが出席しています。第一回会合には赤羽一嘉国交相と小池百合子知事も参加。オブザーバーとして都市再生機構（UR）と不動産協会も加わりました。

小池知事は二〇一九年八月に当時の石井啓一国交相と江戸川区の小松川地区にあるスーパー堤防を視察した際に、実務者による会議体の設立で合意していました。その後の水害頻発や地震対策についての検討も踏まえ、実施につながったようです。都内の木造住宅密集地域は山手線外側などに広がっています。約一万三〇〇〇haあるとされており、都では不燃化特区を設置し、住み替え助成や再開発の支援、延焼遮断帯の設置などを推進しています。水害については東部にゼロメートル地帯が広がるほか、二〇一九年十月の台風一九号では多摩川沿いを中心に八〇〇棟以上に床上浸水被害が生じており、対策が急務となっています。

小池知事は一月十日の記者会見で、「東京は災害に対するリスクが高い。防災まちづくりを強力に推進するため、国と都の実務者で検討を進める」と説明しました。

住宅用蓄電池・燃料電池・V2Hに補助　東京都

東京都は住宅向けの蓄電池や燃料電池、電気自動車から住宅へ給電するビークル・トゥ・ホームシステム（V2H）の導入に補助を行います。申請期間は三月三十一日まで。

二〇一九年度補正予算に伴う事業で、補助率は蓄電池とV2Hが機器費の二分の一。上限は蓄電池がkWh当たり一〇万円、一戸当たり六〇万円で、V2Hは一台当たり三〇万円。蓄電池とV2Hへの補助は太陽光発電システムの導入が条件になっています。燃料電池は機器費の補助率が機器費の五分の一で、上限は戸建てが一台当たり一〇万円、集合住宅が同じく一五万円となります。

2018年の中古住宅買取再販 市場規模は3万2500戸　矢野経済研調べ

矢野経済研究所（東京都中野区）は1月7日、昨年9月から11月に実施した国内中古住宅買取再販市場に関する調査の結果を発表しました。2018年の市場規模は成約件数ベースで前年比8.3%増の3万2500戸（中古戸建と中古マンションの合計戸数）と推計しました。

同市場の将来展望では、住宅取得需要の底堅い推移と、リフォーム・リノベーションを必要とする築年数の経過した住宅ストック数（既築住宅数）の増加を背景に、市場規模の拡大を見込むものです。2025年の市場規模は2018年比38.5%増の4万5000戸（中古戸建と中古マンションの合計戸数）と予測します。

暖房機器を使用していても体の冷えを感じる人は約8割　リンナイ調べ

リンナイ（名古屋市）は全国の20から60代の男女計1000人を対象に実施した、暖房に関する意識調査の結果を発表しました。同調査は、循環器専門医の池谷医院院長・池谷敏郎氏が監修。同氏が作成した冬の生活習慣チェックリストを実施したところ、約半数がヒートショック等のリスクが高まる「危険習慣予備軍」であり、家の中で暖房機器を使用していても冷えを感じる人が約8割にのぼることがわかりました。

冷えを感じることが多い場所は、「トイレ」49.8%、「脱衣所」46.1%でした。冬（12月から2月）に暖房機器を使用している人は8割以上ですが、リビングなど使用している部屋以外は暖めないと回答した人は75%でした。トイレや玄関、廊下、脱衣所など、一時的に使用する場所では暖房機器を使用していないことがわかりました。

リビングで使用している暖房機器は「エアコン」（64.4%）が最も多く、「こたつ」（20.9%）、「石油ストーブ」（17.6%）が続きました。設定温度は平均22.3度でした。暖房についての悩みは、7割以上が「お金がかかる」と回答しています。

身体を冷やさないために行っている対策について、チェックリストで当てはまる数が5個以上の「危険習慣予備軍」と4個以下の「健康優等生」を比較したところ、危険習慣予備軍は「暖房の設定温度を上げる」割合が健康優等生よりも13ポイント以上高く、「運動する」割合は12ポイント少ないことがわかりました。

池谷氏はヒートショックを防ぐために、リビングを快適な温度に保つことと、トイレ・脱衣所での暖房機器の使用を勧めています。

「水回りの良好な温熱環境の実現に資する製品リスト」作成　ベターリビング

一般財団法人ベターリビング（東京都千代田区）はこのほど、主に住宅関連事業者が改修工事で住宅部品・部材を選定する際に活用できる「水回りの良好な温熱環境の実現に資する製品リスト」等をとりまとめてホームページに掲載しました。学識経験者、住宅部品メーカー等から構成される「住宅の良好な温熱環境の実現に資する住宅部品研究会」が作成したものです。

同リストでは、住宅の水回り空間において、建物外皮の断熱化や適切な暖房設備の設置、冷たく感じない床等の対策を行う際に選択する住宅部品や部材を具体的に例示します。また、同リストへの住宅部品・部材の掲載の考え方等の詳細について「水回りの良好な温熱環境の実現に資する製品ガイド」で解説しています。

同研究会は今後、同リストの作成等を通じ、水回り空間を中心とする良好な温熱環境の実現に向けて、住宅部品を活用したソリューションを検討・提案していく予定です。同研究会に参加していない企業の製品にも対象を拡大して製品リストに掲載します。

株式会社 躍進
本　社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 TEL048-688-3388 FAX048-680-7615
東京営業所 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F TEL03-6804-2541 FAX03-6804-2542
URL=http://www.yakushin.jp　E-mail=yakushin-no1@nifty.com
関連会社 不動産事業 株式会社ヤクシンジャパン
関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ
事業内容
防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き
木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気 等
塗装工事：各種塗装
外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁 等診断